

【 I C U 】

I. プログラム責任者 庄司 和広

【はじめに】

当院の ICU は、外科系 ICU (Surgical ICU) が中心であり、入室患者の大半を術後予定入室患者が占めることが特徴であり、その他に病棟における治療が奏功しない内科系・外科系患者の集学的治療にも当たっている。

当科における研修の最終目標は、『患者の重症度を適確に判定し、適切な集学的治療を施行し、患者予後の改善をはかる医療の実践』である。また、集学的治療は科学的根拠に立脚した医療であることを理解し、近年、医療現場において重要視されている Evidence based medicine (EBM) の実践を EBM の検索・評価などを通して、今後の医療者としての基礎的問題解決能力を養うことである。

II. 臨床到達目標

1. 一般目標 (GIO)

- (1) 集学的治療が必要な患者を適確に選定でき、重症度を適切に判定できる。
- (2) 重症度の判定の後、ICU に収容するべきかどうか判断できる。
- (3) 生体危機管理医学としての集学的治療の意義を十分に理解し、緊急時のライフサポートが適切に施行でき、不全臓器に対する各種人工補助療法を含む高度な集中治療を指導医とともに行うことができる。
- (4) 中央診療部門の医師として、各部門との連携を円滑に運営できるコミュニケーション能力を養う。

2. 行動目標 (SBO)

- (1) ICU の運営形態を説明できる (Surgical ICU、Medical ICU、General ICU の違いを説明できる。)
- (2) ICU 入室適応と退室基準について適確に判断できる。
- (3) ICU 入室患者の重症度、不全臓器を適切に判断できる (APACHE II Score、SOFA Score の理解)。
- (4) 肺機能の評価ができる (肺傷害スコア、P/F ratio の理解)。
- (5) 人工呼吸管理の各種モードを理解し病態に応じた人工呼吸管理ができる。
- (6) ARDS/ALI の病態、診断基準を理解し、EBM にそくした治療を実践できる。
- (7) Lung protective strategy を理解し、実践できる。
- (8) 胸腔ドレーン留置、気管切開などの適応について判断できる。特に、外科的気管切開術と経皮的気管切開術の相違点について理解する。
- (9) 気管挿管の適応を判断でき、病態に応じた気管挿管が安全に実践できる。

- (10) 人工呼吸器のウィーニングが行え、抜管のタイミングが判断できる。
- (11) 病態に応じた循環管理が適切に実践できる (Forrester 分類の理解)。
- (12) Shock の原因を診断し、原因に応じた治療が実践できる。
- (13) PiCCO カテーテル、Swan-Ganz カテーテルの挿入適応患者を選定でき、安全に挿入し、その測定値を元に適切な循環管理ができる。
- (14) 急性血液浄化療法 (CHDF、HD、PMX-DHP、PE) の理論と適応について習得する。
- (15) 急性血液浄化療法に必要な Blood access カテーテルを安全に挿入できる。
- (16) DIC の新しい概念と診断基準 (急性期 DIC 診断基準) について理解する。
- (17) 栄養管理の適応、栄養管理の方法 (経腸栄養、静脈栄養) を理解し適切に実践できる。
- (18) 血糖管理の重要性について理解し、適切な血糖管理ができる。
- (19) 電解質異常についてその原因が検索でき、適切に治療できる。
- (20) ICU における感染制御について理解し、適切な感染対策を施行できる。
- (21) 感染症の診断、抗菌薬の選定・投与ができる。
- (22) ICU における鎮静法、鎮痛法について理解し、実践できる。また、鎮静スコアについて理解する。
- (23) 救急・集中治療に用いる各種薬剤の薬理作用、副作用、投与ルート of 管理、投与量について習熟する。
- (24) 心肺蘇生の標準化治療法 (ACLS2005) が実践できる。

Ⅲ. プログラム

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00		ICU 勉強会			カンファレンス		
8:00-9:00	①当直医からの申し送り						
9:00-10:00	②各診療科との合同カンファレンス (治療方針の決定)						
10:00-11:00	③ICU 専属医によるベットサイド回診						
11:00-17:00	④カンファレンスにて決定した治療方針に沿って集学的治療の実践						
17:00-17:30	⑤ICU 専属医によるカンファレンス (当直帯の治療方針の確認)						
17:30-8:00	⑥当直帯 ICU 専属医による集学的治療の実践						

毎週火曜日の 7:00-8:00 に勉強会を開催する。内容は集中治療に関するトピックス等であり、基本的にはスライド資料を参照しながら行うエビデンスレビューの形式で行う。当科の各種疾患に対する治療方針は、本勉強会を持って決定される。初期研修医にも勉強会の担当は割り当てられる。勉強会の担当を通じて、EBM の本質が理解できるようつとめる。